

すでにご案内のように、2002年3月30日(土)午後1時より専修大学神田校舎1号館8階8A会議室において、2001年度シンポジウム「ポスト冷戦と情報革命の展開」が行われます。2001年度「ポスト冷戦と情報革命」を統一テーマを掲げ研究会を重ねてまいりましたので、これまでの研究会の報告に基づいて渋井氏、平野氏、寺内氏の3氏に問題提起をしていただき、情報革命の問題について議論を深めようというのがその趣旨です。3氏の問題提起はすでにポスト冷戦研のホームページに掲載されております。シンポジウム当日の議論を円滑に進めるため、3月2日の拡大運営委員会で暫定的に次のような論点整理を行いました。3氏の問題提起やこの論点整理にご意見がありましたら、是非ともポスト冷戦研ホームページの第一掲示板「討論の広場」にお寄せ下さい。

(1) 「ME=情報革命」の段階区分について

<藤田報告>

第1段階(1971-1980年代):生産過程のME化

第2段階(1980年代~1992年):コンピュータのダウンサイ징化

第3段階(1993年~):ネットワーク主導

<南報告>

ME=情報革命は「ME化の段階、PC化の段階、ネット化の段階の3段飛びで初めて一つのものになる。アメリカでもその3段とびは革命に等しいような、大きな転換を経ている。日本はそれを展開できない。旧いME企業が支配している。この枠を破れない。どうして破れないかというと、明治以来の、もっと日本の古層の問題に触れるをえない」

<原田報告>

ME=情報革命の第1階梯

チップ革命の段階、マイコンの時代、チップ上での素子集積度の飛躍的向上と量産化 技術の革命によって可能となる新鋭と在来との産業間の壁突破と軍事に依存=埋没せざるを得なかつたコストの壁突破

ME=情報革命の第2階梯

90年代以降情報革命が本来の姿で展開する

第2階梯においてなおその型を維持せざるを得ない日本資本主義の狭隘な枠組み、その特殊な仕組み
↓

<渋井説>

「情報(通信)革命」をこのように段階区分できるかどうかは疑問

《論点》

*「ME=情報革命」の起点?

*ME化の日本型とアメリカ型?

*それぞれの段階の意義の確定

*それぞれの段階の移行をどう説明するか?

*ネットワーク化の第2階梯(=第3段階)はどう展開するのか?

「ネットバブルの崩壊はアメリカでの直接金融に支えられたベンチャー主導のインターネット化の第1波が一段落した証左」(矢吹)

(2) 情報革命と90年代アメリカ経済

<矢吹報告>遠因としての1997年アジア通貨危機・1998年ロシア通貨危機、LTCM危機

1997年をピークとする利潤率の急激な低下(2001年夏のGDP統計修正値の公表で明らかになった)

<南報告>

新しいNet=Web環境の巨大な潜勢力の資本循環=再生産軌道への戦略的=選択的などりこみ自体のはらむ新しい『絶対矛盾』→Internet Depression

「バブル」は90年代の好況にとって、つまりは資本によるNetの取り込みにとって、不可欠な金融上の前提=基礎、枠組みをなし、その意味で《20世紀末大旋回》推進に一基軸=「金融革命」のアメリカ型の正常で必然的な一帰結

↓

<渋井説>

*ベンチャーがアメリカ経済再建の中心か？90年代のネットワーク関連投資を主に牽引したのは巨大独占ではないか？

*情報化投資、ネットワーク関連投資の内容の吟味が必要？

<平野説>

*在来部門(製造業・銀行・流通)の資本の利害・運動への注目の低さ

*バブル発生における金融構造への注目の低さ

*インターネットの「分散＝公開＝共有」原則と資本の「集権＝閉鎖＝独占」はどう矛盾 といえるのか？

*この矛盾とバブルがどう結びつくのか？「両者の媒介・因果関係」？

《論点》

*90年代アメリカ経済におけるネットバブルの形成、膨張、崩壊の過程における下記の 3者の役割はどのようなものであったのか？

ベンチャー企業、ベンチャーキャピタル

在来の巨大独占企業

新独占(マイクロソフト、インテル、シスコ)

*バブルの発生・膨張・崩壊における金融構造の役割は？

*90年代の構造を踏まえて、バブルの発生、膨張、崩壊をどのように説明するか？

(3) 人類史における IT/インターネット

<佐々木報告>「環境社会主義の情報国際主義的推進」

<南報告>伝統的な草の根のうえに、国家と企業の枠をこえてひろがる Net 新世界の草の根を構築するアメリカ=世界市民運動の新段階。企業と国家の枠を破れなかつた 20世紀社会=労働=政党運動の解体と止揚の一方向。またそれは、本来的に相互の利害の対立に阻まれる資本=国家の連合にも先行し、それを超える実力をさえみせはじめる。IGC Internet ↓

<平野説>

*ポスト冷戦研の議論の中には、IT/インターネットに対する過大評価があるのではないか。

<寺内説>

*現実に重大な問題となっているにも拘わらず“ネットワークセキュリティ”を論じないのはなぜか。

<渋井説>

*ネットを利用する新しい変革の運動、これらの運動の担い手は、以前からコミュニケーションしたい内容をたくさん持っていた人達、ネットができたことで、主体として成長したのではない。